神内小だより

紀宝町立神内小学校
令和４年６月29日発行

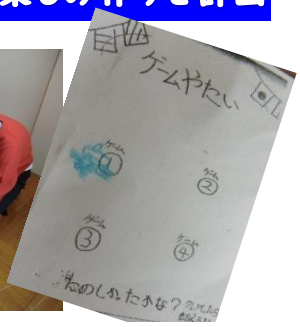
「すべての子どもが互いに認め合い、安心して夢中に学び合える学校」

６月27日、気象庁より「東海地方が梅雨明けしたとみられる」と発表がありました。過去 2 番目の早さの梅雨明けとなり、梅雨期間は最も短い年となったようです。それに伴い猛暑日が続いています。水泳指導が始まった子どもたちにとって、晴れてくれることはうれしいことですが、熱中症予防の対策をしっかり行い、子どもたちにも水分補給や屋外での帽子の使用をよびかける等、安全な学校生活を送れるよう取組を進めていきます。各ご家庭の皆様のご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

★水泳★各自の目標に向かってがんばっています！

６月13日（月）に、4･5･6年生がプール掃除を行い、ピカピカに仕上げてくれました。20日（月）から水泳指導が始まりましたが、今年は雨天に悩まされることが少なく、ほぼ計画通りに水泳指導が実施できています。各学年の目標やそれぞれの児童の目標達成に向けて、いきいきと活動している姿がどの児童からも感じられます。ぜひ、『今挑戦していること』『できるようになったこと』をお子さんとの会話の中で話題にしてください。そして、それぞれのがんばりに励みになる声かけをしてあげてください。

『ゲーム屋台』大盛況！！（6年生の活動）梅雨時（雨天時）の昼休みの楽しみ作りを計画



６年生９人が、４チームに分かれて、「ゴルフ」「射的」「つり」「お化け屋敷」「ジェスチャーゲーム」等のイベントを企画し、雨の日の昼休みに下級生達に呼びかけました。行事ではなく、「外で遊べない昼休みをどう過ごすか」という思いから色々なアイデアを出し合い、進んで取り組む姿は、６年生の主体的に活動する力となっただけでなく、異学年交流を遊びの中で自主的に実施することで、子ども同士の『思いやり』が上級生から下級生に自然に引き継がれていく活動になっていると感じています。

交通安全教室（自転車を安全に乗るために）を実施しました！（6月28日）

「自転車は手軽で便利な乗りものです。」でも「歩いている人にけがをさせてしまうような危ない乗り方をしていると子どもでも相手に多額のお金（保障）を支払わなければならない。」というお話が印象的でした。そのようなことにならないためにも、安全な自転車の乗り方を知り、日常の中で安全な乗り方を実践しなければならないと感じました。今回は、三重県交通安全協会の指導員の方と紀宝警察署の交通安全課の方に来校していただき、交通安全教室を実施しました。

『自転車安全利用五則』をご存じでしょうか。

自転車安全利用五則

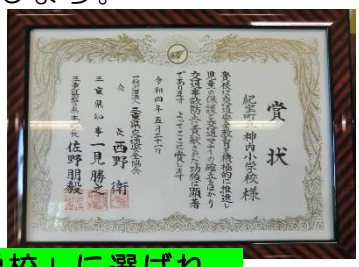
1. 自転車は車道が**原則**、歩道は**例外**
2. 車道は**左側**を通行
3. 歩道は**歩行者優先**で、**車道寄り**を徐行
4. **安全ルール**を守る
5. 子どもは**ヘルメット**着用

自転車通行可

歩道を自転車が通行してもいいのは、『自転車通行可』の道路標識がある歩道です。

また、13歳未満の子どもは歩道を自転車で通行しても良いことになっています。

ぜひ、お子さんに、この交通安全教室から学んだことを聞いてみてください。そして、安全ルールを守り、事故やけがが無い安全な生活を心がけていきましょう。



「交通安全優良学校」に選ばれ、表彰していただきました。

7月の予定

＊ 4日（月）スクールカウンセラー来校（PM）
　　七夕交流会（5限目：1・2年生・神内社会福祉センター）
＊ 6日（水）ケイタイ・スマホ安全教室（3限目：1・2・3年生、4限目：4・5・6年生：）
　　歯みがき指導（4限目：2年生、5限目：4・5年生）
＊ 7日（木）お話会/スクールソーシャルワーカー来校（PM）
　　歯みがき指導（2限目：3年生、3限目：6年生、4限目：1年生）
＊11日（月）街頭指導
＊12日（火）スクールカウンセラー来校（AM）
＊14日（木）夏休み用図書貸し出し（低学年）
　　スクールソーシャルワーカー来校（AM）
＊15日（金）夏休み用図書貸し出し（高学年）/大掃除（特別教室）
＊19日（火）給食修了/ 大掃除（教室）
＊20日（水）街頭指導/終業式

【裏面に続く】

【R４第１回学校運営協議会で今年度の学校経営方針が承認されました！】

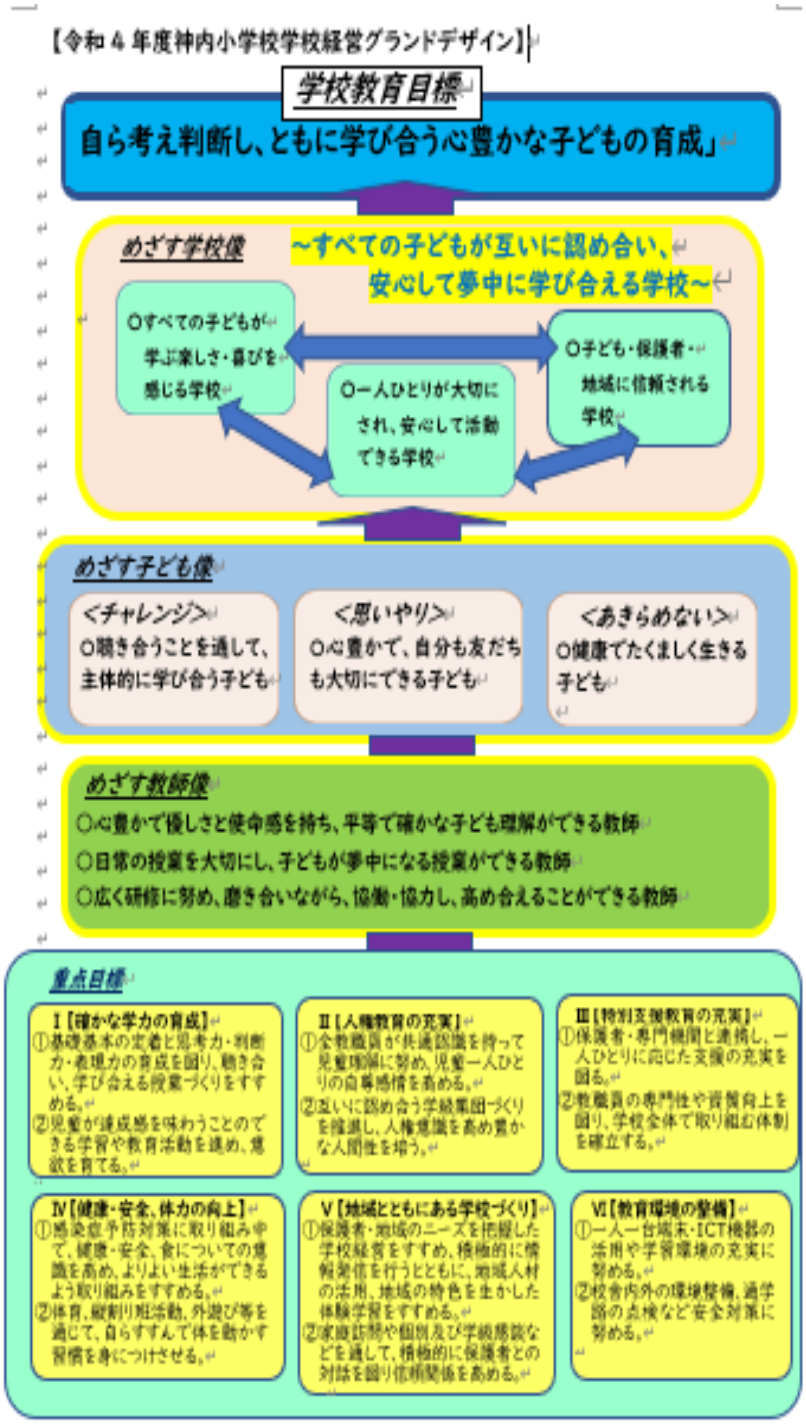
６月14日、今年度の運営委員の皆様に出席いただき、第１回学校運営協議会を開催しました。今年度会長には、昨年度に引き続き、**神内見守りサポーター代表の登立節雄さん**に、また、副会長には**PTA会長の奥山容平さん**になっていただきました。今年度の学校運営委員会は、学校教職員も含め地域の皆様やPTA役員等19人の委員で構成し、神内小学校の応援団として様々な面で活動していただきます。

今回の学校運営委員会では、学校から今年度の学校経営方針についての説明と児童の学校での学習や生活の様子を紹介させていただき、学校経営方針について承認をいただきました。また、委員の皆様からは登校時の交通安全を含めた児童の様子や通学路の危険箇所についてご意見や感想をいただきました。

保護者・地域の皆様とともに学校づくりを進めていきたいと思います。今後とも、ご支援ご協力よろしくお願いいたします。

R4 学校運営協議会委員

委　員（敬称略）	役職または職名
登立　節雄	R4運営協議会会長 神内見守りサポーター代表
川原田　規泰	神内区長
神園　敏昭	神内公民館長 神内見守りサポーター
屋敷　博未	主任児童委員
矢熊　名良子	民生児童委員
一村　希	民生児童委員
植田　真紀	民生児童委員
畠　佳子	神内読み聞かせボランティア代表 神内見守りサポーター
内野　虎郎	神内自主防災会会長
村上　江里	飯盛保育所所長
井賀　淳也	R2PTA会長 R2運営協議会副会長
野地　良成	R3PTA会長 R3運営協議会副会長
上前田　亮	R3PTA副会長
奥山　容平	R4運営協議会副会長 R4PTA会長
加納　友彰	R3・R4PTA副会長
椿原　紀余二	R4PTA副会長
寺本　真奈美	校長
増井　克充	教頭
谷　博安	教諭



学校教育目標実現に向けて

令和４年６月

＊令和３年度「学校自己評価」「児童アンケート」「保護者アンケート」の結果分析、及び「学校関係者評価」をもとに、今年度の重点的な取組課題を捉え、今年度の学校教育目標実現に向けた方針を策定しました。

本年度は、全教職員で児童理解に努め、それぞれの立場で児童に寄り添い、保護者・地域から信頼され、児童が安心して学び活動できる学校をめざして取組をすすめていきます。

学校教育目標・めざす学校像・めざす子ども像について

『チャレンジする子』『思いやりのある子』『あきらめないで取り組む子』

＊自分で判断したり、自分から何かにチャレンジしたりする。

＊達成感を感じる活動やお互いを認め合える活動をすすめ、自尊感情・自己肯定感の向上と相手の気持ちを考えて行動できる思いやりのある子どもの育成をはかる。

＊失敗しても受け入れてもらえる雰囲気づくりをすすめる。

⇒「子ども会」「委員会」「なかよし班活動」の他、各学級での企画委員会の設置、行事での取組等。

⇒ポジティブな考えにつながるような声かけ。

⇒日常的な授業の中での「聴き合える」関係づくりの取組。

「すべての子どもが互いに認め合い、安心して夢中に学び合える学校」に向けた重点目標の取組（具体的取組概要は次の通り）

（１）学力保障・授業の充実

○主体的で対話的な深い学びと思考力・判断力・表現力の向上に繋がる＜きく力＞＜書く力＞＜読み解く力＞＜伝える力＞の育成に重点を置き、夢中になって学ぶ課題・教材・教具の提示の工夫と柔軟な授業スタイルを取り入れた授業の充実をはかります。

○学習規律の定着や発問、授業のすすめ方について見直し・改善を行います。

○一人一台端末やＩＣＴ機器を活用し、「個別最適な学び」と「協同的な学び」の効果的な学習活動を推進します。

○全学年、授業公開年間８回（一人１回以上）町内教育関係者に公開し、公開授業研究会を実施します。

○「学力学習状況調査」や「みえスタディチェック」の結果分析を行い、各学年の発達段階や児童の実態に応じた指導過程を検討し、組織的・系統的に授業改善につなげていきます。

○神内小版「家庭学習のてびき」をもとに家庭と連携し、各学年に応じた自主学習ノートの取組をすすめます。

○町学力推進事業を活用し、研修会へ参加や、校内研修への講師招聘により研修を深め、授業力・教職員の専門性を高めていきます。

（２）豊かな心の育成

○自らあいさつができる子どもの育成に取り組みます。

○自分の思いを表現し、差別や偏見を許さない仲間づくりに努め、児童の人権意識の向上につなげます。

○少人数を活かし、互いの関係性を深める学級・仲間づくり（異学年交流）を行い、互いに認め合う関係を作り、自尊感情・自己肯定感の向上に努めます。

○考え議論する道徳教育をすすめます。

（３）個々のニーズに応じた特別支援教育

○児童の情報交換を丁寧に行い、「教育支援委員を含めた全教職員が一丸となって一人ひとりを大切にする教育」を心掛け、取組をすすめます。

○専門機関と連携し、個に応じた指導方法および専門性を高め、資質向上に向けた研修をすすめます。

○保護者、専門機関と連携して児童理解に努め、個に応じた指導・支援をすすめます。

○保幼小の接続と小中の連携のため、公開授業への積極的な参加や校内の案内を行い、日常的な児童生徒の様子から定期的に保育所や中学校と情報交換を行い、「小一プロブレム」「中一ギャップ」解消に向けた取組をすすめます。

（４）健康・安全指導

○「自分の命や周りに人の命を守る」ことを大切にし、感染症予防対策に取り組みます。

○健康安全、保健指導を充実し、自らの健康と安全に気をつける意識を高めます。

○元気アップシートをもとに目標を設定し、外遊びや異学年交流を奨励し、体を動かす習慣、体力の向上につなげます。

○関係機関と連携し、防災教育、防犯教育、交通安全教育、通学路点検などに取り組みます。

（５）保護者・地域との連携

○家庭訪問、電話や連絡帳による連絡を活用して、子どもの様子を保護者に伝えます。

○学校だより、学級だより、マチコミ、新聞社への情報提供などを通して、児童の様子、学校の取り組み等を発信します。

○神内小版「家庭学習のてびき」をもとに、学習習慣の定着や学年に応じた自主学習ができるよう家庭と連携し、主体的に学び続けることで学力向上につなげます。また、家庭での読書活動を推進します。

○学校運営協議会とともに、保護者・地域・学校が三位一体となり、地域学習を通して、地域の教育力を学校に取り入れ、地域とともに子どもを育てていくという意識を持ち、学校づくり、地域づくりに取り組みます。

○学校行事等の参観を通して、学校・保護者・地域の相互関係を深める中で児童の成長を共有します。

（６）教育環境の整備

○児童の学習が効果的にすすめられるよう校内の一人一台端末・ICT環境を整えます。

○教室を中心に整理・整頓・清掃・消毒を行い、校内美化に努めます。

○紀宝町立図書館や読み聞かせボランティアと連携し、読書環境の整備・充実に努め、学校図書室の利活用などを通して児童の読書活動をすすめます。